

上郷開発 まちづくり勉強会

2015. 5.14 (11時)

<議 題>

- ・提案者報告 (土地管理者としての谷戸の自然管理実施中)
(「住まいの各種相談 (仮称)」)
- ・「まちづくり」構想、参考資料

まちづくり勉強会 事務局

(2) 住まいの各種相談（仮称）

◇内容

1. 初期段階

- ・「まちづくり勉強会」を通じてシニア層の住み替えモデル、多世代共生モデル等最新の暮らし情報の発信。
- ・再生可能エネルギー等に関する最新の情報提供。
- ・住まいの相談担当（1級建築士、宅地建物取引主任者、設計担当他配置予定）

2. 最終段階

- ・提案区域内の住民、周辺住民他対象
- ・住まいに係る各種相談室をA1商業施設内に設置し、エコ住宅化に関するご相談、具体的な設置機器の選定や見積等、工事会社などの紹介、耐震性能建築施設、CASBEE、シックハウス、バリアフリー等々の相談を行う。
- ・最終的には、「まちづくり組織（仮称）」との一体化を目指す。
- ・時代に求められた住宅環境を図り定住者の誘致と生活環境の快適化を推進。

以 上

○上郷・猿田地区のエリアマネジメント的手法による「まちづくり」構想（案）

◇目指すべきこと（具体的な目標へ変化させていく）

- ・“上郷での暮らしの安心”の持続的確保（少子化と超高齢化の不安の緩和）
多くの住民が潜在的に持っている不安感を払拭する。子育て支援も念頭に置く。
（セーフコミュニティ運動とも連携）
- ・高齢期の医療や看護や介護への備え（健康寿命延伸と介護予防、エンディング）
高齢者が安心して生活でき、夢や生き甲斐を持てる暮らしづくり。
- ・自然環境保全と地球温暖化対応（環境調和型のエコライフ）
恵まれた周辺環境や自然環境を大切に育み、地球温暖化にも貢献する。
- ・近隣コミュニティの醸成
社会的孤立が生じがちな現代社会の中でも、近隣や地域の人達と良好な関係を保つ。
- ・学識専門家の協力
まちづくりにより、大学・地域連携の橋渡しを行い、持続性、継承性の確保を行う。
（まちづくりの権威者である教授の協力を求める。
- ・課題の情報収集
多くの住民が潜在的に持っている不安感を払拭する為に、課題で、相互連携できる可能性について、情報収集する手段として「まちづくり」の実行地域の見学会や勉強会を開催する。
- ・実施事例の勉強
候補：「桜ガーデン」、「UR八王子技術センター」、「赤城山自然公園」他

上郷・猿田地区のエリアマネジメント的手法による「まちづくり」参考資料

1. “上郷・猿田地区”での暮らしの安心（1）「地域包括ケア」による安心
2. “上郷・猿田地区”での暮らしの安心（2）「掛かり付け医」による安心
3. “上郷・猿田地区”での暮らしの安心（3）「健康住宅」による安心
4. “上郷・猿田地区”での暮らしの安心（4）健康づくり、健康増進
5. “上郷・猿田地区”での暮らしの安心（5）コミュニティガーデン運動

○次回予定

6月11日(木) 11時、

講師：一般財団法人 日本開発構想研究所 小畑理事

以上